

<奇跡への期待>

「東京海上ビルディングを愛し、その存続を願う会」への寄稿

寺尾信子

「TMIB を愛する会」企画・編集の「えっ！ホントに壊す！？ 東京海上ビルディング」（2022.2.1 発行）を再読させて頂き、多くの執筆者により、全てが語りつくされていることを改めて感じました。2021年3月25日、突然の東京海上ビルの取り壊し建替え計画が発表されてから10ヵ月間にこのような熱い思いの詰まった書籍を作られたことについて関係者に敬意を表します。

東京海上ビルは豊かな広場と共にあの場所に無くてはならない建築です。再開発の決定者の方々にこの建築の価値を理解する人は皆無だったのでしょうか。無念としか言いようがありません。景観、建築文化面ばかりでなく、今も新しい「環境建築」です。2050年カーボンニュートラル時代を目指す国際情勢において、半世紀前から今も毅然として輝いているシンボリックの本社社屋を解体することは、世界から、理解し難い企業判断との評価を受けることでしょう。

建替え計画発表から1年半を経て「存続のアイデア」を提起することは、建替え計画への決定権を有する方に直接届き難い現在、虚しいものがあります。

前川事務所OBで友人の「故・横山聡さん」への空想上の手紙として私の心情を表現しました。

■故・横山聡（よこやま・さとし）氏；

1956年 栃木県生まれ

1980年 日本大学理工学部建築学科卒業

1980年 前川國男建築設計事務所入所

1992年 ヨコヤマ・アソシエイツ設計研究所設立

2007年 病氣にて逝去

横山さんへ。あり得ないことが起ころうとしています。TMIBが姿を消してしまいそうな危機に瀕しています。天国からスーパーパワーを発揮してもらえないものでしょうか。「TMIBを愛する会」から「存続のためのアイデア募集」がありました。

寺尾のアイデア（期待）は、唯一のもの。 (1) 本館の保存・リノベーション (2) 新館の建替え (3) 屋外空間の再構成

建替え計画は具体的に公表されているのです。これを覆せる可能性は99.9%無いかもしれませんが。しかし、一方この3年間のコロナ禍を経て社会も変容しました。リモートワークが一般化する前に始まった建替え計画にどの位の意義があるのか、仮に設計が出来上がっていたとしても勇気ある経営陣であれば、2050年の脱炭素社会をイメージしてどんな選択が真に正しいのか、最終判断を行うことのできるラストチャンスであると思います。

横山さん、よく前川國男先生のお供で東京文化会館のオペラ観劇に行っておられましたね。幕間に、欧州での聴衆としての経験、ウィーンオペラ座の舞台構造を伺ったり、自作の劇場で最高の観劇をする師匠を目の当たりにして、「素晴らしい建築を創りたいと思わずにはいられなかった・・・」そして、それは「前川流の建築家教育だったに違いない」とも言われていました。前川先生のお供をするうちに「舞台芸術は生身の人間が演じ、観客は五感を総動員してそれを受けとめる。都市生活者としての身体性の回

復作業・・・」そういう観点からも先生と語り合う機会を頂いたと聴きました。

TMIB については、中で執務をする経験はできませんが、市民として建築を遠景・近景として眺め、屋外空間を楽しむことはでき、五感を大切にされる先生のお話のことを良く思い出していました。天国ではふたりでオペラを観劇されたりすることがありますか？ 地上の私たちは危機に瀕しています。天国から奇跡のパワーを起こして頂けることを願わずにはられません。

2022年8月21日 寺尾信子

<本稿提出の経緯>

東京海上ビルディングを愛し、その存続を願う会（TMIBを願う会） 主催
東京海上ビルディング「存続のアイデア」募集という企画への文章のみの応募

■タイトル：奇跡への期待

■提出者；寺尾信子（てらお・のぶこ）／JIA 関東甲信越支部・環境委員会委員、(株)寺尾三上建築事務所

■要旨；2022年10月の解体が目前と言われているこの時期におけるアイデアの提出を心情的にできません。0.1%でも望みが残っていたら、その可能性を捨てたくない、ワラにもすがる気持ちを表現しました。希望は（1）本館の保存・リノベーション（2）新館の建替え（3）屋外空間の再構成、です。

<主催者からの謝辞>

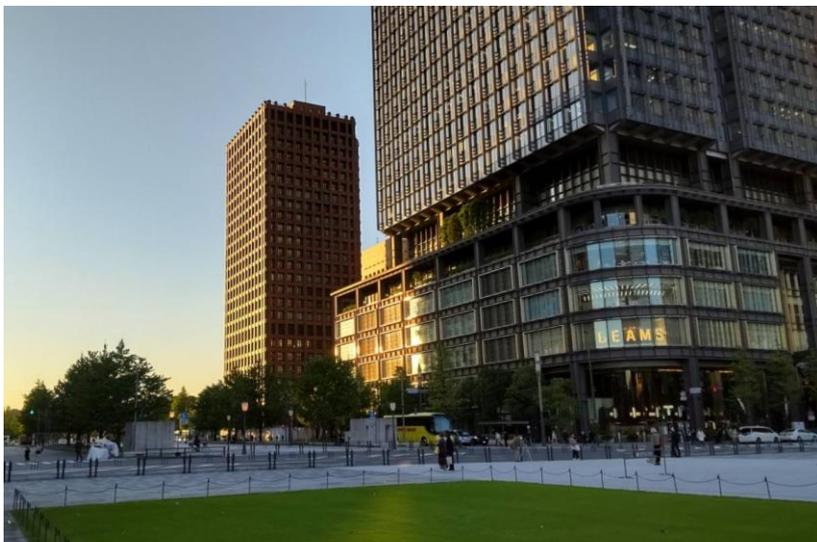
拝啓 このたびは「東京海上日動ビル存続のアイデア募集」にご応募を頂き、誠にありがとうございました。皆様、本当に心がこもった素晴らしいアイデアばかりで、東京海上ビルディングを愛し、その存続を願う会の幹事一同、大変感謝しております。参加賞をお送り致しますのでご査収ください。何卒宜しくお願い申し上げます。敬具 2022.9.26 東京海上ビルディングを愛し、その存続を願う会 会長 奥村珪一 幹事一同



220926 参加賞；前川國男氏
スケッチレプリカ



220921-毎日新聞記事



221020-解体準備の始まった現地
夕陽をまとう東京海上ビル
／撮影；吉本行臣